

泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202

古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人 黒松内つくし園
泊村老人ホーム むつみ荘
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 野崎幸男
編集発行 むつみ荘広報委員会

面会等についてのお願い



全国的に、インフルエンザ等の感染症が流行しています。むつみ荘では感染予防、感染による入居者様の重症化等を防ぐため、施設内はマスクの着用をお願い致します。何かとご不便をおかけしておりますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

面会範囲	御家族、親戚、友人、地域住民等
面会方法	事前予約制 ※感染症予防対策の為
面会時間	8:30~20:30 ※面会時間や頻度について、制限はありません
その他	①御家族の意向により、面会制限をさせて頂く場合があります。 ②感染症予防の為、マスクの着用・検温・体温確認等をさせて頂きます。 ③受付でのみ、直接入居者様へ荷物の受け渡しが可能です。



3月3日のひな祭りの日に、行事食で生かし、茶碗蒸しなどを食べました。1階ロビーや各ユニットに今年も立派なひな人形が飾られ、記念写真をとられる方もいました。おやつとして大福などを食べたユニットもあり、「今日の大福美味しいね、何処で買ったんだろう？」と職員に聞く利用者もいて、

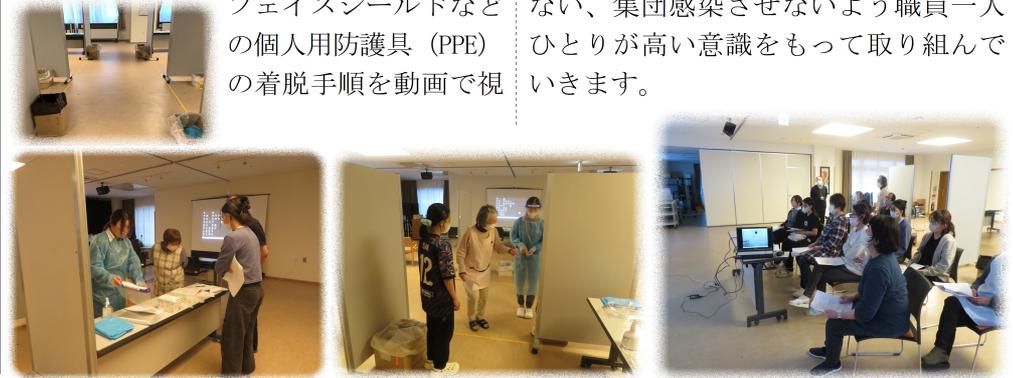
「餅屋さんで買ったんですよ。」と教えてもらった入居者は「やっぱりね。どろりで美味しいと思った」と嬉しそうにされていました。みなさん甘いものが好きなのか「1個じゃ足りないね」と話される入居者もいました。



PPE着脱研修

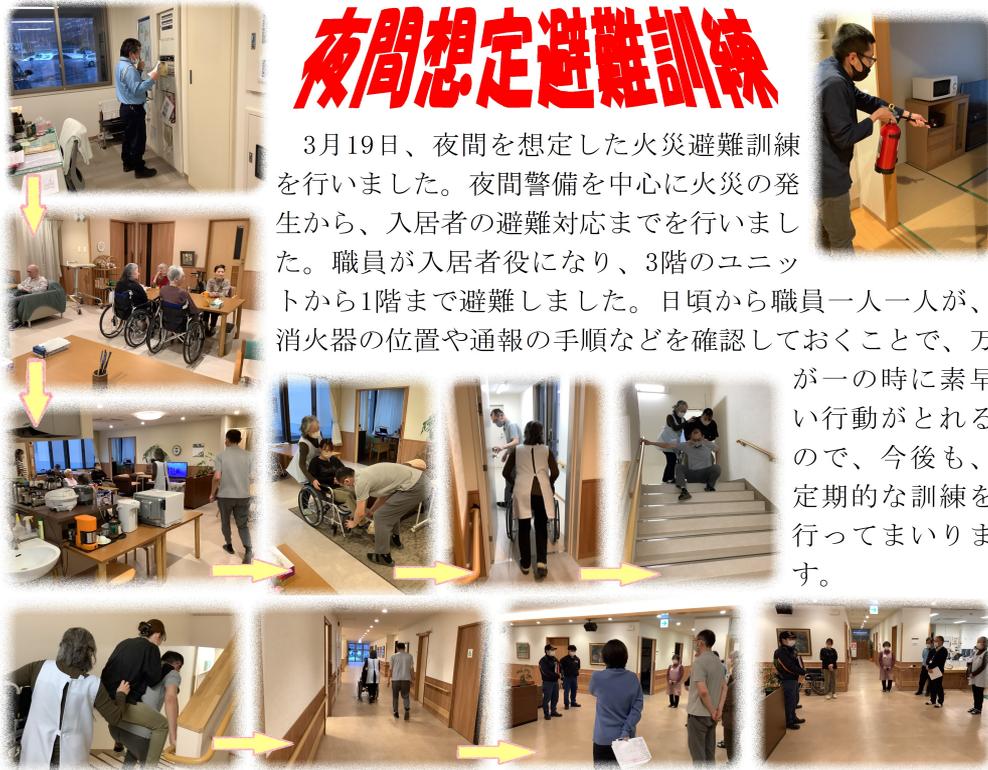
ノロウイルスやインフルエンザの感染率が高いこの時期に、毎年実施している、感染症発生時のゾーニング、PPE着脱研修が2/17、18、3/10の3回に分けて実施されました。手袋、エプロン、フェイスシールドなどの個人用防護具（PPE）の着脱手順を動画で視

聴した後、感染委員や看護師指導の下、職員同士で一つ一つの工程を確認しながら行いました。過去に発生した事例も交えて話し合いながら、全員が真剣に研修に向き合っていました。普段から手洗いや手指消毒を徹底していますが、この時期は特に念入りに実施することも再度確認し、感染症を発生させない、集団感染させないよう職員一人ひとりが高い意識をもって取り組んでいきます。



夜間想定避難訓練

3月19日、夜間を想定した火災避難訓練を行いました。夜間警備を中心に火災の発生から、入居者の避難対応までを行いました。職員が入居者役になり、3階のユニットから1階まで避難しました。日頃から職員一人一人が、消火器の位置や通報の手順などを確認しておくことで、万が一の時に素早い行動がとれるので、今後も、定期的な訓練を行ってまいります。



ユニット紹介VOL.8 特養 おだやかユニット

おだやかユニットは全員が女性で、普段は思い思いに過ごされる事も多いですが、時には冗談を言ったり、歌を歌ってくれたり、職員と一緒に笑い合うことの多いユニットです。食事の時

間に交わす挨拶や、テーブルに座られている方に、ティッシュや箸を取って渡したり、生活の端々で優しさが感じられます。これからも変わらず”おだやかに”過ごしていきたいと思ひます。



職員募集!!

～むつみ荘で一緒に働きませんか?～

当施設では、以下の職員を募集しています。施設の仕事に興味のある方、一緒に働いてくれる方をお待ちしております。

●勤務時間●

- ・シフト制(パート勤務OK! ※要相談)
- ・配食サービス(15時～17時)
- ・掃除パート(週1回～、※1日2時間程度～OK!)



●資格●

【介護員】※無資格、未経験者歓迎

- ・介護福祉士 ・介護職員実務者研修(ヘルパー1級)
- ・介護職員初任者研修(ヘルパー2級)他

【生活相談員】

- ・社会福祉士 ・社会福祉主事

【配食サービス】

- ・普通自動車免許

<連絡先>

0135-65-2255(担当:野崎)



入居状況



【特養】

2026.3.27

【養護】

2026.3.27

市町村	入居	市町村	入居
泊村	16名	平取町	1名
岩内町	19名	黒松内町	0名
共和町	9名	伊達市	1名
寿都町	2名	小樽市	1名
余市町	1名	神恵内村	2名
		合計	52名

市町村	入居	短期
泊村	26名	9名
共和町	2名	
余市町	1名	
札幌市	1名	
合計	30名	9名

ショート	1名
合計	1名

※入居定員数60名(ショートは空床利用)

入居定員数30名、短期10名



むつみ荘では、入居等に関するご相談を随時受け付けております。入居に関するご質問・ご相談は、養護・特養共に【生活相談員】までお気軽にお問い合わせください。

